

2020～2021年度 小倉中央ロータリークラブ週報

第1227回 本日の例会 3月29日(月)

本日の例会 クラブ協議会(後半)
「上半期活動報告および下半期活動計画」



例会日 月曜日 12:30～13:30
例会場 リーガロイヤルホテル小倉
事務所 小倉北区堺町1-2-16-3F
TEL 093-531-4015
FAX 093-531-1022

会長の時間(3月22日 1226回 例会記録)

光應会長

出席報告 3月22日

「イタダキマスと大丈夫」

私は子供や孫に対し、それほど多くの事を求めているつもりはありません。何はともあれ、皆元気で居てほしい、争う事なく想いあって生きてほしい。これが根本です。

ひとつこだわりがあるとすれば、食事と言葉です。

娘が揃えばやかましいのですが、それでも食事のマナーは親として伝えたいところがあります。孫たちも幼いので好き嫌いは多いですが、それでも出汁や素材を生かした味付けは伝えていきたいと強く思っています。

もう一点は言葉です。テレビを見ていまして「ウマイ」とか「食う」という言葉をよく聞きます。この表現がどうも嫌いです。作ってくれた方の事を思うならば「美味しい」や「食べる」「いただく」と言って欲しいものです。

ところがここ数年、小学生の孫たちに食事を勧めた時に「大丈夫」と言って断られます。私にはまったく理解が出来ません。

娘たちにはなぜか理解できているようです。「いりません」「けっこうです」と断るのが子供には抵抗があって「もうお腹がいっぱいなのでいりません」という意味なのだそうだ。

調べたところ、この「大丈夫」には「問題ありません」のYESの意味と「もう結構です」のNOの意味の相反する意図があり、若者とのビジネスシーンでも敬遠されているようです。私は曖昧でどうも嫌いです。

この事を議論していると、テレビでの味覚表現の話になりました。最近の食レポの誉め言葉は、基本的に「あまい」「柔らかい」ですね。

しかし、私は噛めば噛むほど素材の旨みが広がるような料理が好きです。酒は主張が少なく、料理を引き立ててくれる物が好きです。

とはいえ、私は口下手ですから、一緒に居る家族に上手く美味しさを伝えられずに「食べてごらん」とすすめて「大丈夫」と断られる日々です。

作ってくれた人に感謝し、食材の命を大切に頂く。お茶碗のお米粒ひとつまで感謝したいと思います。

在籍会員数	38名
義務出席者	35名
ゲスト	0名
ビジター	0名
本日出席数	30名
本日出席率	85.71%
前々回修正出席率	89.47%

卓話予定 : 4月 5日(月)

森本 浩文会員

3月のお誕生日

15日 安部 高子会員
20日 光應 知廣会員
30日 安木 功会員

今月の主な予定

13日(土) 会長エレクト研修セミナー
27日(土) 米山奨学会委員長会議
(Zoom 会議)

四つのテスト ～ 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

幹事報告

羽地幹事

- ・本日は、クラブ協議会となっております。発表の委員長さんはよろしくお祈りします。
- ・例会場変更のお知らせ
大谷会館閉館により八幡中央 RC（月曜日例会）は、千草ホテルに変わります。4月12日(月)より千草ホテルにて開催するそうです。
- ・地区大会に関する件
4月25日(日)12:00より、柳川市民文化会館にて開催されます。当日はYouTubeにて配信されます。是非、ご覧ください。

ニコニコ献金報告

累計 461,400円

羽地会員—昨日21日(日)豊前市で30Kチャレンジウォークに参加し、小雨が降る中を歩きましたが、無事完歩しました。

安部会員—昨日は親しい友人達と楽しい会話、食事等、おまけにプレゼントまで頂戴しまして、心より御礼申し上げますと共に冥土のおみやげがまた増えて…
“あっ 重たい!!”

林田会員—コロナ休暇中、実姉が急逝し、悲しい事がありました。また、とても嬉しい事もありましたので、ニコニコします。

大久保会員—例年より、10日も早く桜が開花とのこと。
新しい年度へ向けて早引きします。

合計 12,000円

祝お誕生日祝い—河野一郎会員（2月）



米山功労者 & ポールハリスフェロー表彰



原田 緑会員へ米山功労者の表彰状とロータリー財団よりポールハリスの徽章が届いています。ご協力ありがとうございました。

卓話の時間

クラブ協議会

「上半期活動報告および下半期活動計画」

クラブ運営について	光應会長
会計	樋上会員
会計監査	野口会員
長期計画委員会	原田委員長

◆クラブ管理運営部会

会員増強委員会	吉田委員長
例会委員会	鍋島委員長
親睦活動委員会	河野委員長
会員選考委員会	安木委員長
会場監督	梶原会員

